

海上保安官署施設費に係る事業の新規採択時評価表

評価年度：18年度

事業概要	事業名	航空基地施設の整備（福岡）
	事業場所	福岡県福岡市博多区半道橋（空港内）
	構造・規模	庁舎：RC-2 635㎡（増築）
事業の評価	事業の緊急性	100点
	計画の妥当性	133点
	事業の効果	126点
	新規採択理由	<p>最近の海上保安庁に対する業務ニーズは、海難救助、テロ対策・危機管理体制の強化、海洋権益の保全、昼夜を問わず発生する密輸・密航事案、大規模災害への対応等多岐にわたり、これらの事案に迅速かつ的確に対応するため航空機の機動力を活用した対応が益々重要となってきた。</p> <p>現在の福岡航空基地においては、2機4クルー体制の整備、機動救難士の配置等もあって執務環境の狭隘化が進み、当直要員（クルー・機動救難士）の待機、温度・湿度管理が必要な精密機器等の保管、投入される特殊救難隊等の待機・携行資器材の保管、関係者の打合せが、騒然とした通信室、執務室、廊下、格納庫で行われるなど、業務効率の低下が著しく、クルー、機動救難士等の安全管理及び事案即応に支障を来たしており、これら基地の執務環境を早急に改善するとともに、基地のオペレーション機能を充実強化するため、航空基地施設の整備を行う必要がある。</p>

略図等

